

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

6月20日から7月19日までは、薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施期間です。

覚せい剤や大麻、危険ドラッグなど、薬物の乱用問題は世界的な広がりを見せ、深刻な社会問題の一つとなっています。

これらの薬物には依存性があり、使用すると自分の意思ではやめられなくなります。また、使用をやめた後も体や心に重大な問題が残る場合が多くあります。

千葉県では、一人ひとりの薬物乱用問題に対する認識を高め、薬物乱用防止を一層推進するため、6月26日の「国際麻薬乱用撲滅デー」にちなみ、県内各地で街頭キャンペーンを行います。

皆さんも薬物の危険性を正しく認識し、薬物乱用を許さない社会環境づくりにご協力をお願いします。



お問い合わせ 千葉県健康福祉部薬務課 TEL 043-223-2620

骨髄ドナー登録にご協力を

骨髄・末梢血幹細胞移植まつしょうけつは、白血病などの血液の病気を治すための有効な治療法です。

毎年約10,000人の方が白血病などの血液の病気を発症し、そのうち2,000人以上の方が骨髄・末梢血幹細胞移植を必要としています。

現在、約9割以上の患者さんにドナー(提供者)が見つっていますが、移植を受けられる患者さんは約6割にとどまっています。また、近年、年齢制限等の理由により登録から外れるドナーが増えています。

より多くの患者さんの命を救うためには、一人でも多くの方の登録が必要です。

県民の皆さま、善意の意思表示『ドナー登録』のご協力をお願いいたします。

▼ドナー登録の条件

- ・体重が男性45kg以上/女性40kg以上の方
- ・年齢18歳～54歳までで健康な方
- ・骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方



▼県内の登録受付窓口のご案内

場 所	電話番号
印旛健康福祉センター(印旛保健所)	TEL 043-483-1135 (予約制)
長生健康福祉センター(長生保健所)	TEL 0475-22-5167 (予約制)
君津健康福祉センター(君津保健所)	TEL 0438-22-3745 (予約制)
モノレールちば駅献血ルーム	TEL 043-224-0332
運転免許センター献血ルーム	TEL 043-276-3641
献血ルームフェイス	TEL 047-460-0521
松戸献血ルーム Pure	TEL 047-703-1006
津田沼献血ルーム	TEL 047-493-0322
柏献血ルーム	TEL 04-7167-8050

お問い合わせ 千葉県健康福祉部薬務課 TEL 043-223-2614

若い世代で梅毒患者が増加しています

【梅毒とは】

梅毒トレポネーマが感染しておこる性感染症です。

全国的に梅毒患者の報告が急増しており、千葉県でも増加傾向にあります。2017年は、感染症法が改正された1999年以降最多の報告があった2016年と同数で、140件の報告がありました。特に20～30歳代の若い世代で報告が増えています。

【感染経路】

性行為(性器と性器、性器と肛門、性器と口の接触)など感染部位と粘膜や皮膚との直接接触により感染します。

【症状等】

初期(感染後数週間～数か月)には、感染部位にしこりが生じるほか、体全体に赤い発疹(バラ疹)が見られることがあります。消えることがあります。

治療しないまま数年経過すると、心臓や血管、脳などに病変が生じ、死亡することがあります。

また、妊婦が感染すると胎児に感染し、死産や奇形が起こることがあります(先天梅毒)。

【予防方法】

感染部位と粘膜、皮膚が接触しないようにコンドームを使用することが予防方法となりますが、コンドームに覆われていない皮膚との接触で感染することがあります。

【治療】

治療には抗菌薬を使用しますが、病期により治療期間は異なります。医師が治療を終了とするまでは、確実に治療を受けましょう。

また、パートナーも感染している可能性が高いため、必ず一緒に検査を受け、感染が認められた場合は一緒に治療を行うことが大切です。

【検査を受けましょう】

梅毒やHIVなどの性感染症は、症状が軽いことが多く、感染していることを自覚していない場合もあります。

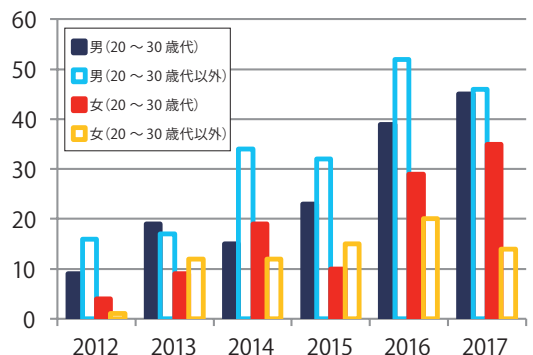
県の健康福祉センター(保健所)では、無料・匿名でHIV検査と同時に梅毒検査を受けることが出来ますので、お気軽にお問い合わせください。

梅毒発生状況(感染症発生動向調査結果)

年	全国	千葉県
2016年	4,575	140
2017年	5,820	140

平成30年2月17日現在

2012～2017年 千葉県年別・性別・年代別梅毒発生状況



お問い合わせ 千葉県健康福祉部疾病対策課 TEL 043-223-2691